

NPO／NGOが持続的に発展できるよう、
組織基盤の強化を応援します

Panasonic NPOサポート ファンド

— 2014年募集 —

助成テーマ 客観的な視点を取り入れた組織基盤の強化

NPO／NGOがより戦略的に社会課題を解決できるよう組織基盤の強化をはかるには、多様で客観的な視点を取り入れて組織を見直し、自己変革を行うことが重要です。本ファンドでは、国内で先進的な取り組みを展開するNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが、第三者の多様で客観的な視点を取り入れて実施する組織運営上の課題解決のための取り組みを応援します。

助成対象



環境分野

環境問題に
取り組む
NPO／NGO



子ども分野

子どもたちの健やかな
育ちを応援する
NPO／NGO

応募受付期間 2014年
7/16水～31木 必着

本ファンドは、NPO／NGOの現場に即した効果的なプログラムとするために、特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金、特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド、パナソニック株式会社が協働して企画開発・運営しています。

持続可能な社会の実現に向けて

Panasonic NPOサポート ファンド 趣旨

パナソニックは、持続可能な社会の実現に向けて「育成と共生」を活動理念に、「環境・エネルギー」と「次世代育成支援」を重点分野として、グローバルに企業市民活動を展開しています。

社会課題の解決の促進に向けて市民活動が持続的に発展していくためには、NPO/NGOの組織基盤の強化が必要であるとの認識のもと、2001年に本ファンドを設立以来、一貫してNPO/NGOの組織基盤強化を応援し、239件2億9千万円の助成をしてきました。

2014年募集事業の助成テーマは、「客観的な視点を取り入れた組織基盤の強化」です。国内で先進的な取り組みを展開するNPOや、新興国・途上国で活動するNGOが、第三者の多様で客観的な視点を取り入れて実施する組織運営上の課題解決に向けた取り組みを応援します。具体的な組織基盤強化の取り組みのみならず、組織全体の課題を抽出し解決の方向性を見出すための「組織診断」も応援します。

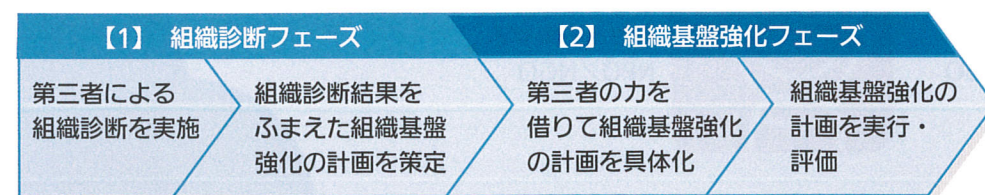
社会からNPO/NGOに寄せられる期待が大きい今、組織基盤強化の取り組みを通じて市民活動の持続的発展、社会課題の解決促進、社会の変革に貢献してまいります。

2014年3月

パナソニック株式会社

助成プログラムの仕組み

第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを応援します。以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【1】、【2】のみの取り組みでの応募が可能です。



“第三者”の力を取り入れて

外部からの客観的な視点によって、自分たちの魅力や生かしどころに気づく



ブレーパークセタがや
大垣内弘美さん

第三者による組織診断で指摘を受けて初めて、意思統一や情報発信ができていないといった問題が、何に起因するものなのかがわかりました。また外部からの客観的な視点によって、自分たちの魅力や生かしどころもわかりました。私たちの中から課題解決に使える素材を引き出し、突破口となる糸口を示してくれました。その中から現実的に活かせる方法を取捨選択しています。そして問題解決のプロセスが身につく、自分たちでも応用できるようになりました。事務局体制を強化し、組織のベースを立て直し、ゆっくりとですが成長曲線を描きつつあります。

ー2011年～2013年助成ー

組織基盤強化に取り組んで

地方に存在することの強みを活かし、大きく成長



アジア日本相互交流センター・ICAN
井川定一さん

助成前は自己資金が1000万円ほどで伸び悩み、繰越金は3年連続の赤字で倒産の危機に直面していました。まず団体の強みとやりたいことを見直し、他団体の経営を分析して、自己資金を増やす中長期計画を立てました。さらに会報を通じて既存の関わりを強化し、職員やボランティアの研修も行いました。それから4年後には資金調達がミッションの一部として定着したことから、自己資金は約6倍に増加。プロジェクト数も倍増し、表彰を受ける機会も増えています。今では自分達の組織基盤強化の経験をもとに外務省のNGO相談員事業を受託するまでになりました。

ー2009年～2010年助成ー

2014年募集概要

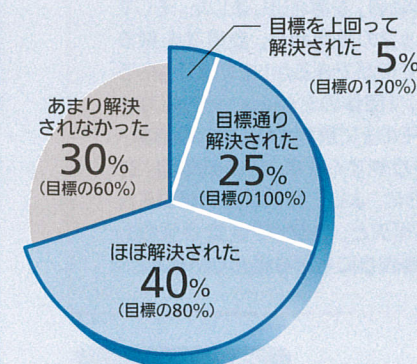
※ご応募の際は、必ずホームページに掲載している応募要項をご覧ください。
応募要項は、パナソニックのホームページでダウンロードできます。

	環境分野	子ども分野
助成対象団体	環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指すNPO/NGO	子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会の創造を目指し、先駆的な活動と自己変革に挑戦するNPO/NGO
	● 団体設立から3年以上であること ● 有給常勤スタッフが1名以上であること	● 日本国内に事務所があること ※ 財政規模1000万円以上の団体を想定していますが、要件ではありません。
助成対象事業	第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みを最長3年まで応援します。 以下の【1】と【2】の連続した取り組み、または【1】、【2】のみの取り組みでの応募が可能です。 【1】 組織診断フェーズ 第三者による組織診断を実施した後、組織診断結果をふまえて、組織基盤強化の計画を策定する事業 【2】 組織基盤強化フェーズ 第三者の力を借りて組織基盤強化の計画を具体化した後、組織基盤強化の計画を実行する事業 ※「第三者」とは、応募団体が選定するNPO支援機関やNPO経営支援の専門家等のことを指します。	
助成金額	1団体への上限200万円。ただし、【1】 組織診断フェーズ のみの取り組みの場合は上限100万円 ※助成対象経費は、コンサルティング費用、事務局経費（人件費含む）、旅費交通費など組織基盤強化の取り組みに必要な経費 ●助成総額は、「2014年新規募集」「継続助成」あわせて、環境分野1,500万円、子ども分野1,500万円、合計3,000万円	
助成事業期間	2015年1月1日～2015年12月31日	
応募受付期間	2014年7月16日（水）～7月31日（木） 必着	
応募要項および応募用紙のダウンロードについて	パナソニックのホームページでダウンロードできます。 http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/ ※ダウンロードができない場合には裏面事務局のNPOまでE-mail、またはFAXでご連絡ください。	
助成事業のスケジュール		

2011年助成先21団体へのアンケート調査をもとにした事業評価

組織運営上の課題が解決し、主要事業のアウトカム・インパクトが改善・向上

1. 組織運営上の課題が解決し、組織基盤が強化された



調査：公益財団法人パブリックリソース財団

- 7割の団体で、助成申請の際に抱えていた組織運営上の課題が80%以上解決
- 助成先団体の助成後の総収入は、平均して4%の増加
寄付は平均で5倍増加
- 有給スタッフ、ボランティア数が増加し、組織運営や活動の担い手が増加

今回の調査対象である21団体において、「組織が変化した」というコメントを寄せた団体の多くは、「中期ビジョン・計画の策定」あるいは「人材の育成」に取り組んだ団体であることが特徴的である。Panasonic NPOサポート ファンドの資金支援や、外部の専門家によるアドバイス、助成事務局のサポートは、団体がその変化を乗り越えることを後押しし、理事やスタッフの意識変革を促したことが伺えた。

2. アウトカム・インパクトの改善・向上がはかられた

- 受益対象者の範囲や人数が拡大した団体 ……76.2%
- 取り組んでいる社会課題の解決に対して影響を与えた団体 ……71.4%
- 取り組んでいる社会課題について、社会の意識に変化を与えた団体 ……57.1%
- 取り組んでいる社会課題に関連した政策に影響を与えた団体 ……28.6%
- 同じ社会課題の解決に取り組んでいる他団体、企業などの行動に影響を与えた団体 ……47.6%

お問合せ

Panasonic NPOサポート ファンドの応募についてのご相談・お問い合わせは「応募要項」「応募用紙」をご覧ください。下記NPOまで。ご相談は月曜日から金曜日（10:00～17:00）にE-mailまたは、お電話でお願いします。

事務局

環境分野	子ども分野
特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル3階 TEL : 03-5298-6644 FAX : 03-3255-2202 URL : http://www.eco-future.net 担当 : 美濃部・木村 E-mail : eff-spf@eco-future.net	特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階 TEL : 03-5623-5055 FAX : 03-5623-5057 URL : http://www.civilfund.org/ 担当 : 坂本・武藤 E-mail : kodomo@civilfund.org
パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化グループ（担当：東郷） 〒105-8301 東京都港区東新橋 1-5-1 パナソニック東京汐留ビル TEL : 03-3574-5665	

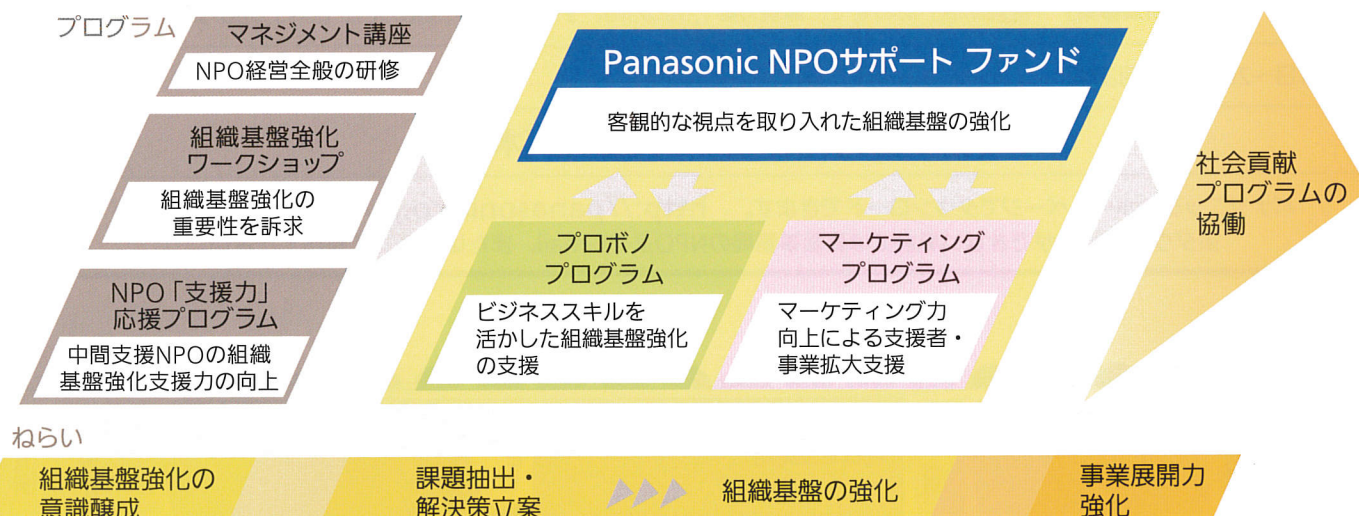
過去に助成を受けられた団体の助成事業概要、推薦理由等の選考結果のほか、助成事例のレポート、フォーラムなどのイベントレポート等、さまざまな関連情報をホームページに掲載しています。

Panasonic NPOサポート ファンド <http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/>

ご参考

パナソニックのNPO/NGO組織基盤強化支援プログラム

パナソニックは、NPO/NGOの社会的インパクトの増大をめざして「組織基盤強化の支援」に力を入れて取り組んでいます。NPOサポート ファンドを中心に5つのプログラムを有機的に展開し、NPO/NGOの組織基盤強化の支援を通じて社会課題の解決促進に貢献してまいります。



ねらい

サポートファンド 2013年プロボノ プログラム

“理想のハウス” 実現に向けて、力強く一歩前進

私達は“理想のハウス”をつくるため、具体的にビジュアル化することでプレゼン資料として活用し、実現に一歩でも近づけたいと考えました。社会と合意をしながら物事を進めていくのがNPOのやり方。だから、“理想のハウス”は社会と共に考え、つくりたいと思いました。企業人の視点が増えれば、ハウスの可能性はもっと広がるはずだという期待がありました。このプロジェクトは「私たちのハウスは本当に必要とされているのか」という社会への問いかけでもあり、プロボノの方の作業を通して「必要ですよ」と認めてもらえた気がしました。



ファミリーハウス
植田洋子さん

サポートファンド 2013年マーケティング プログラム

支援者、イベント参加者の声を活かし、徹底した顧客視点に立った「活動概念図」を作成

私たちには、担当する活動については熱く語れるのに「FoE Japanは何を目指しているの」と問われると、口ごもってしまう、また、イベント参加者が支援者になっていかない、という悩みがありました。まず「顧客リサーチ」として支援者のデータを分析し、支援者やイベント参加者4000人へのアンケートで「顧客価値」を導き出しました。そしてその結果や、スタッフの意見から、支援者を得るには「FoE Japanで何ができるか」を知ってもらうことが必要と考え、「団体のミッションとFoE流の解決アプローチ」「その上に展開される個々の活動」の位置づけをわかりやすく示す「活動概念図」を作成しました。さらに、より丁寧に継続的なコミュニケーションが不可欠と、スタッフ全員が意識して実践していく体制作りにも取り組んでいます。



FoE Japan
篠原ゆり子さん